

第51回定時総会を終えて

日本包装管理士会

会長 山田 孝志

7月の豪雨で熊本県と大分県の被害を受けた地域の方々に心よりお見舞い申し上げます。

地球の温暖化によるかどうかはわかりませんが、近年、線状降水帯という現象の集中豪雨により、連続的に同じ場所に雨が降り続いて大きな被害をもたすようになりました。いつ止むのかわからない雨と河川の増水していく様子には恐怖心を抱いたことと思います。一日も早く復旧して平常に戻ることを祈ります。

また、同じ7月に「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が、ユネスコの世界遺産リスト登録物件で、日本の世界遺産の中では21番目に登録されたニュースです。世界遺産になったことの是非は別として、日本が良い意味で世界から注目を受け、海外から沢山の観光客が訪れることは、インバウンドによる地域経済の活性化に貢献することが期待されます。

さて6月27日、第51回日本包装管理会総会が行われ、新年度の活動方針が承認されました。JPIの越野専務理事をはじめ、包装関係団体の来賓を迎えて行われました。終わった後の情報交換会の席で、来賓の方々から、参加者との活発な質疑応答と建設的な意見交換が行われていることに大変な評価を得ました。シャンシャンシャンの総会も会員の意思を反映して活動しているということの裏返しでしょうが、理事会に参加していない一般の会員からの直接の意見を聞く場として総会が活用されることは良いことと思います。平日の昼間の開催で、また、東京で行われていることもあり、仕事の関係や遠路で参加もままならない人も多いと思います。そのため、総会の時だけでなく、思いついたときにはいつでもIPP事務局にメールやTEL等でご連絡願います。前向きに検討して、できることは会の運営や活動に反映していきたいと思います。

最後に、全国で暑い毎日が続いています。年々尋常な暑さではなくなってきていますので、熱中症対策を十分に行い、気をつけてお過ごし願います。

《INDEX》

定時総会	2
支部だより	4



PACKAGING INFORMATION
包装技術者の連携と協力をめざす

日本包装管理士会 会報
No.123

ipp
news

ipp news
2017年8月25日発行
編集人／荒井拓哉
発行／日本包装管理士会
東京都中央区築地4-1-1
TEL 03-3543-9250

第51回日本包装管理士会定時総会開催される

2017年6月27日（火）、第51回日本包装管理士会定時総会が開催されました。

総会は、27名の出席者と379名の委任者によって成立し、公益社団法人日本包装技術協会専務理事 越野滋夫氏、日本包装専士会会長 安原明世氏、日本包装コンサルタント協会会長 住本充弘氏、技術士包装物流会会長 田中好雄氏を来賓にお迎えして開催されました。



審議に先立ち、山田孝志会長の挨拶、来賓を代表して日本包装技術協会 越野滋夫専務理事から祝辞をいただきました。

山田会長は「昨年50周年も無事終わり本年、51回を迎えることになりました。次の100周年に向けてというのは先が長いようですが、その第1歩を始めた本年度です。これから少しずつ新しい内容をつぎ込んで次の100年に向けて頑張っていきたいと思っています。会員の皆さまの協力が是非とも必要ですので今後ともよろしくお願いいたします。」と挨拶しました。

来賓の日本包装技術協会 越野滋夫専務理事からは「私も30年くらい前に管理士講座を受けまして、面接と筆記試験を受けて合格しておりますので、皆さまのお仲間ということでご挨拶させていただきます。包装管理士は現時点では13,000人を超える数です。ただ、今、山田会長がおっしゃったように残念ながら会員数は6%位で、できれば10%位まで上げていただいて、より知名度を上げて活性化していただきたいと思います。今日も感じたのですがいろいろな人がいます。人生の経験者、若い方、皆さんに会に入っていただくように私どもも配慮していきたいと思います。支部のことを言うと、今回、支部は女性が多く、それぞれ女性の会を作ろうと工夫をされているようですので、そのあたりを事業としてご配慮いただければと思います。さて、来年のことで恐縮ですが、いつも関係団体の方、管理士会の方に協力いただいている東京パックが来年10月2日からあるのですが、経済産業省から来年は明治150年ということで、東京パッ

クもその意味で参画してくれという要望がありました。担当部署からそれぞれの団体の方に集まっていたいて、どういう内容の企画ができるか、ということでご相談申し上げたいと思っております。そういうことで管理士の皆さま、各団体の皆さま、いろいろなところで支えになっていただいておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。」と挨拶されました。



JPI 越野専務理事の来賓ご挨拶

議案の審議経過

第1号議案 2016年度事業報告及び収支決算報告承認の件（提案者：事務局長・井上伸也氏）

会員動静ですが、50期までの会費納入者を数えますと679名、特にご覧いただきたいのは関東が今期22名プラスでまだ細かい分析はしていませんが企業から一括で入会されている方、あるいは企業の中で大勢管理士がいらっしゃるところからの入会が多かったと、事務局では感じておりますと報告があった。



第1号議案を提案する井上事務局長と大野議長

第2号議案 2016年度業務監査報告及び会計監査報告 会計監査報告提案者：会計監事・塚本富陸氏

2016年度会計帳簿、収支決算及び貸借対照表を監査したところ、公正妥当な会計習慣に従って作成されたことを確認したと報告した。

業務監査報告：業務監事・荒牧 哲氏

各担当者より提出された報告書、この総会資料を詳細に検討した結果、各部門のそれぞれの領分において非常に厳しい予算執行であったことを確認しました。また、東京パックの予算計上漏れが前年度発生したわけですが、対策として来年度予算に東京パック積み立てという項目を設けるということで対策することを確認しましたと報

告した。続いて別紙・第2号議案追加分について説明した。この総会資料の決算報告書は総会間際になったこと、収支報告書に疑問点がありますので、我々会計監事と業務監事は総会資料の決算報告書が監査未了であることを追加で報告します。総会後に調査検討を行い、監査結果を会長と理事会に報告します。と述べた。

第1号・第2号議案 質疑応答（ポイントのみ記載）

発言者：斎藤 昇氏（東北支部 13期）：会員動静ですが、50期までになっていますが51期はどうなったのか。

発言者：事務局長：51期の方はまだ会費をいただいております。正会員は会費入金者ということで数年前から修正しています。支部によってはそのまま会員とする支部もありますが。本部の入金確定者ということで言うと、会費をいただいているということが入っておりません。

質疑応答終了後、1号議案・2号議案・2号議案追加分が承認された。

第3号議案 50周年記念事業に関する決算承認および監査報告（提案者：山田孝志氏）

記念事業は、以下の5項目について報告された。

- 1.「日本包装管理士会 50年史」を発行（記念誌発行委員会）
- 2.50周年キャラクターデザインおよび愛称「つつむ君」の作成（キャラクター作成委員会）
- 3.記念セミナー「地方創生が生むパッケージの新潮流」を開催（記念セミナー委員会）
- 4.日本包装管理士会 創立50周年祝賀会（記念パーティー委員会）
- 5.支部長会議開催

収支決算報告は、3年間の総括として、収入決算、支出決算とも、3,127,643円で、予算より大幅に減額したが内容はそれなりにできた、と報告した。

第3号議案 質疑応答（ポイントのみ記載）

発言者：林 晴夫氏（16期）：キャラクターの商標権調査費用には登録の費用は入っているのか。

発言者：山田孝志氏：登録費用は入っていません。弁理士資格を持っている人の話によると、登録しなかったとしても既知であればこちらが優先されるということです。これを広く使ってもらうことは問題ないわけで、このキャラクターで利益を追求するわけではないので、維持する費用を考えると、登録はしないということになりました。変な使い方をされた場合は異議申し立てします。

第4号議案 2017年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

〈事業計画〉（提案者：会長・山田孝志氏）

以下の5つの重点課題について説明があった。

- 1.会員の自己啓発による実力アップを支援する 会員による経験紹介や研究会活動活発化
- 2.ホームページを中心とする情報提供を豊富にし、会の充実を図る

3.会員の増強

4.財政の充実

5.関連機関との協力強化

〈収支予算（案）〉（提案者：副会長・道明 誠氏）

2017年度予算（案）（2017年5月1日～2018年4月30日）について以下の説明があった。

収入合計6,348,074円で予算計画をしている。支出は、先ほどの監査の内容によって変わってくると思いますが、支部活動費は3,625,000円を計上している。広報、国際交流、財務、情報、事務局、予備費を合わせて合計6,348,074円を計上します。

第4号議案 質疑応答（ポイントのみ記載）

発言者：小林弘佑氏（会員番号 17089）

現在はシステムがないまま、運営されている。この実態を改善しない限り、今回の指摘のあった会計の問題は解決しない。、ぜひこの機会にマネジメントシステムなど全体に関わるシステムを整理して総合的にIPPを発展させるということをやっていききたいと思いますので皆さまのご協力をお願いします。

発言者：会長・山田孝志氏

おっしゃる通り、定款を見直しておりませんので、この機会に定款見直しを準備していききたいと思います。

質疑応答終了後、第4号議案が承認された。

第5号議案 過年度基金報告の件（提案者：井上事務局長）

荒牧監事から指摘のあった第49回、第50回定時総会における基金報告内容について誤記報告となった理由と対策について説明があった。

第5号議案が承認された。

最後に、山田会長から、2017年度の本部役員について説明があり、第51回日本包装管理士会定時総会を閉会した。

2017年度 日本包装管理士会 支部長

北海道支部	酒井 幸彦（36期）
東北支部	鈴木 雅彦（23期）
関東支部	古平 篤（25期）
中部支部	岡部 智（27期）
関西支部	桃川 公一（23期）
西日本支部	中村 格勇（26期）



定時総会を終えて

第40回日本包装管理士会西日本支部定例総会を2017年5月19日（金曜日）12時より福岡市のインペリアルパレス シティホテル福岡の会議室にて開催しました。

冒頭、支部長より『『継続は力なり』の精神を信じて努める』との挨拶の後、2016年度事業報告・決算報告ならびに2017年度事業計画・予算案が審議され、役員を担当制とし、以下の通り選任されました。

総 括 中村格勇（支部長）
 事 業 森永浩史（副支部長）、八田彰（副支部長）
 広 報 末松洋亮（理事）、上橋健一（理事）
 渉 外 藤生廣来（理事）、屋木実（理事）
 事 務 小田博章（事務局長）
 会計監査 役員全員監査（主任監査は藤生理事）

今年度も会員数減少傾向は続いているですが、JPIとの協力関係をより強めながら、出来る限り充実した事業企画を実施したいと考えています。

2017年度の事業企画は以下の通り計画しておりますので、皆様のご参加をお待ちしています。

2017年

7月 講演会、交流会
 8月 見学会
 9月 見学会
 11月 研究発表会、交流会

2018年

1月 賀詞交歓会
 2月 見学会
 3月 研究会
 4月 見学会、役員会

西日本支部では、平成29年2月～5月の事業として、JPIと共催で工場見学を2社、JPI、日本HM協会、福岡県倉庫協会との共催で研究会を2回開催しました。

以下に事業内容を報告します。

[工場見学会]

平成29年2月15日（水）
 株式会社マルタイ 皿うどん製造ライン
 住所：福岡市西区今宿青木1042番地1

[工場見学会]

平成29年4月28日（金）
 株式会社ひよ子 穂波工場
 住所：福岡県飯塚市築市538-1

[研究会]

平成29年5月15日（月）
 テーマ：ICTを活用した作業効率の向上について
 講 師：YKK AP株式会社

生産本部ロジスティクス推進部部长 岩崎稔氏
 テーマ：物流イノベーションは包装技術から
 ～自動車の実例から～

講 師：J-SCIコンサルティング

代表 安藤康行氏

会 場：インペリアルパレス シティホテル福岡

住 所：福岡市博多区中洲5-2-18

[研究会]

平成29年5月19日（金）
 テーマ：衛生講習会
 講 師：福岡市博多区保険福祉センター

衛生課食品係 担当者

テーマ：おいしさの評価方法

講 師：一般財団法人日本食品分析センター
 名古屋支所 栄養科学科 生化学分析課
 浜崎裕也氏

会 場：インペリアルパレス シティホテル福岡

住 所：福岡市博多区中洲5-2-18

以上



IPP・JPI・日本HM協会・福岡県倉庫協会共催の講演会

北海道支部だより ●●●

北海道支部長 酒井幸彦 (36期)

IPP会員の皆様には、この暑い中にも関わらずご活躍の事とお慶び申し上げます。又、九州豪雨の被害に合われた方には心よりお見舞い申し上げます。

北海道も例年にない厳しい暑さに連日見舞われて、本州方面より来道された方からは「涼しいと思って来てみたが、本州より暑いので驚いた」との言葉を聞かされ、やはり地球がおかしくなっているのかと思う次第です。北海道は農産、水産と一次産業が主力となっており、天候に大きく影響を受け我々包装資材に携わる者としては業績が左右される状況です。農産物ではさくらんぼが雨の影響で収量ダウン、又水産関係ではイワシが例年になく水温が5度近く高いとの事で漁獲が大幅減となり、今後のサ

ンマ漁にも影響が出そうな感じです。

そういう状況ではありますが、暑気払いとして北海道支部で例年行っている、ビール会を今年も7月28日に開催予定です。重たい空気を皆でビールを飲みながら吹き飛ばしたいですね。

【北海道支部総会】

北海道支部の平成28年度総会を5月29日、札幌すみれホテルにて開催致しました。平成28年度決算報告及び平成29年度事業計画案を説明、了承頂き今年度をスタート致しました。

中部支部だより ●●●

中部支部長 岡部 智 (27期)

包装資材研究例会と第48回定期総会

平成29年6月28日(水)の午後、JPI中部支部との共催事業で「包装資材研究例会」を、名古屋駅東口に近接したウインクあいち(愛知県産業労働センター)において、66名の参加者を集め開催しました。この研究例会では、第1講演は「3Dプリンターの基礎と応用、包装への適用事例と今後の可能性」の演題で(株)スリーディー・システムズ・ジャパンの春日寿利氏より、また第2講演は「美粧パルプモールドについて」の演題でダイナパック(株)の野本早紀氏よりお話いただきました。

研究例会終了後は同会場で、中部支部第48回定期総

会を開催しました。第1号議案の平成28年度事業と収支決算の報告承認の件、続いて第2号議案の平成29年度事業計画、収支予算(案)承認の件、そして第3号議案の役員の信任案について提案があり、原案通り承認されました。第3号議案では新たに副支部長として東海紙器(株)の吉沢知宏氏および刈谷紙器(株)の三浦幸雄氏、また運営委員として、もりや産業(株)の柏本昌昭氏および(株)チューゲンの神谷英孝氏に加わって頂くこととなり、今後この体制のもと各種事業を展開してまいります。

引き続き、支部活動への会員各位のご支援とご協力をお願い致します。



中部支部第48回定期総会

東北支部だより ●●●

東北支部 事務局長 斎藤 昇（13期）

2017年6月12日（月）に支部総会・見学会・講演会・懇親会等行いましたので、その報告をいたします。当日は豪華3部構成で計画されました。

工場見学、講演会、総会・懇親会です。

見学会はトヨタの小型車生産拠点、トヨタ自動車東日本の大衡工場です。大衡工場の生産車種はシエンタ・カローラアクシオ・カローラフィールダー・福祉車両等です。現在の生産台数は1.5分に1台との事です。

トヨタ生産方式等の説明を聞いて、専用バスで工場へ。見学は溶接・組立・検査ラインを見学。その結ギャラリーでトヨタの環境への取り組み・からくり道場・社会人スポーツへの参加等の説明を聞き、記念写真を撮って見学会を終了しました。

その後、松島に移動して講演会を開催しました。講演会はNHKテレビ「仕事の流儀」包装管理士で放映されたTOTO（株）の岡崎義和氏、廣松隆明氏のお二人をお迎えして行いました。はじめに、テレビで放映されたものを見て、講演に入りました。包装業務への取り組みの考え方や、包装設計業務、人材教育（岡崎塾）の事など実務に直結する内容で、包装業務に携わる人なら誰でも聞きたい内容でした。

最後にスペシャリストとプロフェッショナルの違い、アマとプロの違い等、岡崎講師の考え方をお話しいたいて終了しました。

その後、支部総会を開催し、執行部案の議案が事務局より提案され、全員一致で承認されました。

和室に移動してTOTOの岡崎氏、廣松氏にも参加して頂き、懇親会を開催しました。



結ギャラリー内での展示物見学



結ギャラリーの説明



講師の岡崎氏、廣松氏



関東支部だより

オーストラリア視察開催

関東支部 支部長 古平 篤 (25期)

関東支部主催のオーストラリア視察が2017年3月8日～3月13日まで行われ、今回は6人参加しました。

3月8日の全日空の夜行便で9時間30分、オーストラリアのシドニーに向かいました。シドニーに到着後、タクシーで宿泊先のホテルに向かい、荷物を預けてAUSPACKの送迎バスで約1時間、AUSPACK2017の会場であるオリピックパークに向かいました。



AUSPACK2017

AUSPACKは2年に1回行われ、約350小間と約7000人が、参加する包装展で、包装資材、包装機械、食品関係など包装全般の総合展で、今年で、32回目です。展示はロボット関係が多くABBや日本では安川電機が展示していました。食品容器もあり、材質がPPでヒンジ付でソースのリユース容器も展示されていました。人の背の高さ位ある、コンテナ内のドラム缶の間の緩衝材や、傾けたままで重さを測定できるウェイトチェッカーやお菓子・野菜をシュリンクする機械、大腸菌群・一般細菌・カビ酵母等を測定するCRモニタリング機器（菌数測定用）検出キット、流動性の液体の搬送装置、レフトを兼ねたフェンス、プラパレット等あらゆるものが展示されていました。台湾や中国の企業も出展していました。



AUSPACK2017の会場

1日は会場で昼食をとった後、送迎バスでシドニーまで戻り、その後は、キャプテンクックのクルーズ船でオペラハウス等を見ながら食事をしました。2日は観光バスで1時間位の所にある国立公園のブルーマウンテン観光を行い、グランドキャニオンの様な渓谷でした。3日はハンターバレーで3ヶ所のワイナリーの見学、4日は、シドニー市街の見学でオペラハウスの内部やセントメアリー大聖堂等の見学を行い、航空機の夜行便で羽田空港に向かい、早朝に到着し、解散となりました。

第45回関東支部定時総会

2017年6月27日（火）13:30～、(株)文昌堂貸会議室において第45回日本包装管理士会関東支部定時総会が開催されました。総会は、17名の出席者と137名の委任者によって成立し、第1号議案から第3号議案まで、全ての議案が承認されました。

議事に先立ち、古平支部長から「昨年は本部が50回を迎え、関東支部におきましても50周年の準備を行いたいと思います。さて昨年、関東支部の包装管理士の女性のメンバーによる「Wipplの会」を立ち上げることができました。また、今年も工場見学会、フォローアップセミナー、海外視察、地域研究会、IPP写真研究会など、いろいろな行事を行います。ご協力をお願いします。」と挨拶があり、来賓の山田日本包装管理士会会長からは「関東支部もあと5年で50周年です。皆さまのご協力が非常に必要な時と思います。」と挨拶がありました。



挨拶をする古平関東支部長

関東支部 春の見学会を実施

関東支部 理事 田村正幸 (27期)

2月7日火曜日に花王(株)東京工場とパキウムモールド工業(株)の2社を見学しました。花王(株)東京工場は全国8箇所ある工場のなかで一番歴史のある生産工場で、主に化粧品の生産を行っています。ファンデーションの包装梱包ラインの見学。併設する花王ミュージアムでは昔懐か

いい商品の数々の展示をみてまわり、体験コーナーでは専用機器を使って肌や髪の状態をチェックしたりしました。見て、聞いて、体験できた内容でした。



花王(株)東京工場にて

バキュームモールド工業(株)は、プラスチック製品の真空成形用金型及び抜型の設計、製作をする58年の歴史ある会社です。金型の製作現場を数班に分かれて見学。各製造工程ごとに説明を受けながら金型が完成していくまでを見てまわることができました。なかなか見る機会がないだけに、その後の質疑応答では活発な質疑が飛び交っていました。



バキュームモールド工業(株)にて

参加者は26名で、見学会終了後北千住駅付近で新たな仲間も加わり情報交換会を開催。充実した見学会となりました。

“Wippl” コミュニティ発足、活動中

関東支部 理事 “Wippl” サポーター
須藤貴行 (31期)

“Wippl” は、メンバーからの提案により、全員一致で採用したネーミングです。真ん中に“IPP”が入っているのがミソです。

昨年平成28年7月、数年来の懸案となっていた、女性包装管理士のコミュニティを作る支援体制を関東支部に作り、2名の理事にサポーターを委嘱してスタートしました。

「IPPの研究会・見学会の案内をもらっても、知り合

いがいないので参加の申し込みができない」「女性がいなくて参加しにくい」などの声がありましたので、まず、知り合うきっかけの場を設けてコミュニティに発展して、情報交換や意見交換により、メンバーの仕事等の向上の一助になればとの支援活動です。今までいただいた女性包装管理士の方の名刺を基に、約50名の方にEメールや電話によりメンバーとしての参加をお勧めして、さらに口コミ等もあって、参加した8名のメンバーにより、昨年平成28年11月に発足しました。

メンバーの意見調整・信頼関係を育てることを大切に、準備会、2回の全体会を経て、今後の活動についてのプランをまとめています。今年平成29年7月にランチミーティングのかたちで第3回のミーティングを開催し、今回は、各社の女性活躍推進の取り組みに関する情報交換を行いました。

今後もメンバーの話し合いによって、順次活動を進めていく予定です。

IPP会員以外の女性管理士も含めて、広くメンバーを募集していますので、参加ご希望の方は、IPP事務局にご連絡ください。“Wippl” サポーターからご連絡いたします。



ランチミーティングでの情報交換

「オーストラリア視察報告会」を開催

関東支部 理事 道明 誠 (23期)

平成29年5月30日18:30から、(株)文昌堂10F貸会議室において、オーストラリア視察報告会を開催し、13名の会員が参加しました。

IPP関東支部のメンバー 6名が3月8日～13日、オーストラリアのシドニーオリンピックパークで開催された“AUSPACK2017”を視察し、興味を引いた展示について報告しました。また、オーストラリアの経済状況、スーパーマーケットの市場調査についても併せて報告しました。アジア諸国の包装展では見られなかった産業ロボットについて動画を交えた紹介があり、先進国ならではの興味深

い包装展であった旨の感想がありました。聴講した参加者からも質問が多数出され、大変有意義な報告会となりました。



視察報告をする古平関東支部長

「第3回包装研究会」を開催

関東支部 理事 道明 誠 (23期)

2017年2月23日(木) 18:30から、(株)文昌堂10F貸会議室において、第3回包装研究会を開催し、会員・講師を含め14名の参加がありました。

今回の研究会は51期包装管理士講座を修了された新管理士2名の講師によるご発表で、最初はレンゴー(株)の坪田昌博様 テーマ名「開封陳列に優れた飲料向け「リテルメイト」の開発」、2番目は、王子コンテナ(株)広瀬高淑様 テーマ名「300ml PET A式DIETBOXの開発」をご発表いただきました。



レンゴー(株)の坪田昌博さんの発表



王子コンテナ(株) 広瀬高淑さんの発表

ここ最近の研究会では、生活者包装に関連するご発表が多かったのですが、今回は輸送包装に絞った内容

で企画しました。

意見交換会では、聴講者から「輸送包装の発表内容だったので聴講に来た。参加して良かった」といったご意見などを頂きました。研究会終了後も、名刺交換するなど有意義な研究会となりました。

今後は、皆様のご意見を頂戴し、輸送包装、生活者包装を織り交ぜながら、研究会の企画をしていきたいと思います。ぜひ皆様のご要望を事務局までお寄せください。

IPP写真研究会 活動報告と作品募集

IPP写真研究会会長 荒牧 哲

2017年2月04日(土)、アサヒビールゲストルームで小写真展兼新年会を29名の参加を得て開催。

おいしいビールと共に、各自の作品3点へ島村講師より講評をいただきました。



アサヒビールゲストルームでの小写真展兼新年会

4月08日(土)、桜満開の水元公園に9名が集合。撮影後、和食と日本酒を楽しみつつ情報を交換しました。

6月10日(土)、町田薬師池公園で雨季撮影会を実施。島村講師含め9名が花摘み娘が手入する花菖蒲を撮影しました。懇親会で本格醤油料理を初体験。

今後、7月28-29日群馬万座温泉、9月22日ワイライトクルーズ、秋、冬又は早春の撮影会、横浜での写真展、JPIロビーでのベストワン展、新年会兼小写真展を行います。

開催案内

楽しい写真展 (第14回IPP写真研究会展)
2017.11.02~11.07 横浜市山手234番館

出展作品募集

楽しい写真展に出展する作品を募集します。
会場は横浜の観光スポットで多数の入場が見込まれます。(2016年は約1,100人)
IPP会員に限定、1人1点、A3サイズ、出展料なし。
10月02日締め切り。
出展希望の方は、メールタイトルを「写真出展」とし、IPP事務局へ発信ください。

5月26日に関西支部定時総会が開催され、桃川支部長を含め8名の運営委員が承認されました。本年度もミニセミナー、見学会、W会との合同セミナー等を主体にした活動を展開して行きます。会員の皆様には関心のあるセミナーには是非ご参加して頂きたいと考えています。これら催しには会員の皆さまの他、一般の方の参加も多く、広く交流の場となっています。

会員の皆さまには都度ご案内をして行きますが、情報収集と交流の場として活用して頂きたいと思っています。以下2016年度後半から直近までの活動内容を紹介します。

◆ミニセミナーの開催

◇第31回 2月7日

「20ftドライコンテナでの最適な重量物積載方法の研究」

講師：山九(株)技術開発部 中井太地氏

「シグマ紙業について」

講師：シグマ紙業(株)営業第三部部長 大道栄司氏



中井講師



大道講師

◇第32回 3月28日

「CAEを利用したラップラウンドケースの短側面変形防止の研究」

※第41回木下賞「包装技術賞」受賞

講師：レンゴー(株)包装技術部部長代理 東山哲氏

「リターナブル容器のレンタル利用による改善事例」

講師：トライウォールジャパン(株)営業部課長

出口幹雄氏



東山講師



出口講師



セミナーの様子

◆2016年度／2017年度 関西支部 総会

2017年5月26日 於：ATC 11F エコグリーンプラ
ザ展示多目的ホール



定時総会にて



桃川支部長（左）と下茂副支部長（右）

◆夏期見学会&セミナー 6月28日

①見学会

アース環境サービス(株) 彩都総合研究所
〈T-CUBE〉

②セミナー

「1.新しい異物判定技術（昆虫など）
～凍結切片法・遺伝子同定法など」

「2.ゴキブリの生態について～意外と知らない専門
知識」

講師：アース環境サービス(株)学術部情報科学博士
中村浩章氏



T-CUBE『シナプス』前にて



中村博士



つつむ君

「つつむ君」をよろしくお願いします

「つつむ君」は、IPP創立50周年を記念して、たくさんの会員の皆様にご応募、ご投票をいただいて生れたIPPのキャラクターです。

「つつむ君」は、生産から流通、消費、廃棄に至るまで、あらゆる工程で内容物を保護する、包装の精神を表しています。

IPPは51年目をスタートしました。「つつむ君」はこれからもIPPと共にさまざまな場面で活躍します。

● 編集後記 ●

IPPは昨年、50周年を迎え、本年、新たな1歩をスタートしました。第51回定時総会が終了し、新しい年度の活動が始まりました。本年の定時総会はいろいろな意味で充実した内容の定時総会でした。定款の見直しなど、基本的な組織改善が提案されました。また、各支部で女性管理士の活動が活発になり、女性管理士の会の活動が報告されました。本年、会員数が僅かですが増加という明るい兆しも見えてきました。

今年のIPPは課題も多く、予定されている活動も大変多い状況です。今までにも増して会員の皆さまのご支援、ご

協力をお願いいたします。

ホームページも、もっと活発にいたしたく、お気軽に情報をお寄せください。事務局でアップいたします。

温暖化の影響でしょうか。自然災害が多くなっています。被害を受けられた支部の皆さまには、心からお見舞い申し上げます。

まだまだ暑い日が続きます。皆さま健康に留意されてご活躍くださいますよう、お祈り申し上げます。

荒井拓哉 (12期)

日本包装管理士会 / Institute of Packaging Professionals, Japan

e-mail: ipp@pk9.so-net.ne.jp
http://www.ippj.net/

■本 部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■北海道支部	〒 060-0004	札幌市中央区北一条西 2丁目 北海道経済センタービル 北海道生産性本部内	☎ : 011-241-8591 fax : 011-241-3898
■東北支部	〒 021-0893	岩手県一関市地主町 3-35 株式会社 東北ウエノ内	☎ : 0191-21-4531 fax : 0191-21-5381
■関東支部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■中部支部	〒 450-0003	名古屋市中村区名駅南 4-1-2 17日通ビル 2F 日本包装技術協会内	☎ : 052-563-7110 fax : 052-563-7123
■関西支部	〒 550-0014	大阪市西区北堀江 1-1-27 イマイビル 4階	☎ : 090-4305-3906 (携帯・桃川) fax : 06-6606-8768
■西日本支部	〒 838-0068	福岡県朝倉市甘木 2144-11 中村包装管理士事務所内	☎ : 0946-22-3798 携帯 : 080-5263-2144

----- Copy & FAX 用切取線 -----

日本包装管理士会会員登録データ変更届

■宛先 日本包装管理士会事務局 fax : 03-3543-8970 ☎ : 03-3543-9250

フリガナ

氏 名 会員番号 番 平成 年 月 日届

会 社	社 名					
	所 属					
	住 所 〒					
	TEL	FAX				
	E-mail					
自 宅	住 所 〒					
	TEL	FAX				
	E-mail					